

学習を支援する人材育成のカリキュラムイメージ(案)

今後さらに求められる専門性

- ◆ 学習課題の把握と企画立案能力
- ◆ 広域的な調整者(コーディネーター)としての能力

総時間数 150~160時間

社会教育主事

社会教育主事の資格取得のためには①社会教育主事講習の修了又は②大学において社会教育に関する科目の単位修得が必要。

①【社会教育主事講習:4科目9単位(150時間程度)のうち7単位程度。1単位=15時間~30時間】

「社会教育計画」2単位

- 事業計画の意義・プログラム作成
- 学習情報提供・学習相談の意義
- 社会教育の広報・公聴
- 評価の意義・内容・方法
- 地域課題の把握(ニーズ調査・データ分析等)

● 図書館・博物館・公民館経営の方法

● 行政法・財政法

「社会教育演習」2単位

- 地域課題の把握と考察
- 事業計画立案の実際

120時間

● 教育施設の動向(現地研修)

「社会教育特講」3単位

- 現代的課題(社会福祉・環境教育・健康教育・情報化・消費者教育・職業教育・芸術文化・科学技術・国際理解教育・ボランティア活動・大学開放・NPO・青少年の体験活動・生涯スポーツ・地方分権と規制緩和・行政評価)

②【「社会教育に関する科目」(大学における養成課程)

4科目24単位(2~3年間、計360時間)

各分野において必要な知識・技術等を修得した者や実務経験を踏まえた専門「領域」に対する名称の付加も検討

名称の例:

学校教育支援コーディネーター
家庭教育支援コーディネーター
職業教育コーディネーター 等

学校教育支援(教科や総合学習の時間において指導を行う)教育サポーター・家庭教育サポーター
読み聞かせサポーター・IT教育サポーター 等

学習相談員
家庭教育カウンセラー
職業教育カウンセラー 等

[参考]

総時間数 120時間

学習コーディネーター

【応用科目】

【講義】

- 学習活動のマネジメント
- ネットワークの認識
- 効果的なグループワークの方法
- カウンセリング基礎

【実習】

- 学習プログラム作成・評価の演習
- コーディネート実践演習
- グループワーク(組織づくり)
- カウンセリング演習

【専門科目】

- 社会教育の現代的課題
- 社会教育施設の特性
- 大人の学習ニーズの把握・分析
- 指導方法
- 学習成果の評価
- 情報収集・提供
- 実践プログラムの作成
- 模擬講座の実施 等

80時間

総時間数 80時間

教育サポーター

【専門科目】(大人の学習支援)

- 社会教育の現代的課題
- 社会教育施設の特性
- 大人の学習ニーズの把握・分析
- 指導方法
- 学習成果の評価
- 情報収集・提供
- 実践プログラムの作成
- 模擬講座の実施
- 施設実習(博物館等) 等

又は

【専門科目】(子どもの学習支援)

- 学校教育の現代的課題
- 学校の指導計画・教育方針
- 子どもとのコミュニケーション
- 子どもの安全管理・健康管理
- 模擬講座の実施
- 施設実習(学校等) 等

40時間

総時間数 120時間

学習相談員

【学習相談の理解】

- 学習相談の基礎
- 学習相談の意義と役割
- 学習相談の推進体制の基礎
- 学習相談員の活動

【学習相談の実際】

【講義】+

- 学習ニーズの把握
- カウンセリング基礎
- 学習情報提供システムの意義と機能
- 情報収集・提供
- 学習評価の理論と実践
- ネットワークの認識

【実習】

- 学習プログラム作成・評価の演習
 - 学習相談演習
 - カウンセリング演習
- 【学習情報の処理】
- 学習情報の収集と管理
 - データベースの基礎理論

80時間

時間数 120時間

キャリア・コンサルタント

【キャリアコンサルティングの社会的意義に関する知識】

- キャリア形成支援の必要性
- キャリア・コンサルティングの役割
- 倫理規程

【基本的知識・スキル】

- 情報収集・提供
- メンタルヘルス
- 労働関係法
- カウンセリングの技法 等
- 演習(カウンセリング演習等)

【実施過程において必要なスキル】

- 相談場面の設定
 - 相談過程の総括 等
 - コンサルティング実践演習
- 【効果的な実施に係る能力】
- キャリア形成の重要性の社会への普及
 - ネットワークの認識

80時間

生涯学習に関する基礎的知識

時間数 30~40時間(2単位)

「社会教育の概念」「学校教育行政」「社会教育行政」「地域の特性・現状」「発達段階(年齢)に応じた教育方法について」「学校と社会の連携について」「指導者の役割、あり方」「指導計画の立て方」「情報通信技術を活用した指導方法」「ボランティア論基礎」「NPO活動基礎」等横断的な基礎的知識

- 社会・経済的動向とキャリア形成支援の必要性
- キャリア・コンサルティングの役割と位置づけ
- 任務の範囲

40時間